

財団法人茨城県水産振興事業団

[法人の概要]

平成17年7月1日現在

代表者名	理事長 浅野次男 (非常勤)	県所管部課	農林水産部漁政課	
所在地	水戸市三の丸1丁目1番33号	電話番号	029-224-5151	
ホームページURL		E-mailアドレス		
資本金(基本財産)	30,000 千円	設立年月日	昭和44年8月28日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	茨城県漁業協同組合連合会	6,000 千円	20.0 %
	2	茨城県	5,000 千円	16.7 %
	3	茨城県信用漁業協同組合連合会	2,000 千円	6.7 %
	4	茨城県漁業信用基金協会	500 千円	1.7 %
	5	茨城県旋網漁業協同組合	500 千円	1.7 %
その他	3 団体	16,000 千円	53.3 %	
設立目的	本県水産業の生産拡大と経営の安定合理化を図り、もって本県水産業の発展に寄与することを目的とする。			

[事業の概要]

事業名	平成17年度事業費	内容
事業1 各種任意団体運営費助成	13,500 千円	県内の漁協及び漁業者が組織する任意団体等を対象に運営費の一部を助成する。
事業2 密漁防止対策事業経費助成	1,800 千円	漁協が実施する密漁防止対策事業に関する経費の一部を助成する。
事業3	千円	

[組織]

7月1日現在の人数	年度	平成15年			平成16年			平成17年		
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB	
役員	常勤理事	1	0	1	1	0	0	1	0	0
	非常勤理事	10	0	0	11	0	0	10	0	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	3	0	0	3	0	0	3	0	0
	計	14	0	1	15	0	0	14	0	0
職員	管理職	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般職	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
					0	歳 月	年 月			

[収支の状況]

財団法人茨城県水産振興事業団

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
収 支 の 状 況	収入合計	22,538	11,651	87,021
	事業収入	9,038	8,651	14,726
	事業外収入	13,500	3,000	72,295
	支出合計	49,157	20,222	152,931
	事業支出	21,328	13,525	7,650
	事業外支出	27,829	6,697	145,281
	うち管理費	14,329	3,697	72,986
	うち人件費	0	0	0
	当期収支差額	-26,619	-8,571	-65,910
	正味財産増加額	0	0	0
	正味財産減少額	0	0	0
	当期正味財産増減額	-26,619	-8,571	-65,910
	前期繰越正味財産	176,911	150,292	141,721
期末正味財産	150,292	141,721	75,811	
財 産 の 状 況	資産	150,292	141,721	75,811
	流動資産	110,292	101,721	35,811
	固定資産	40,000	40,000	40,000
	負債	0	0	0
	流動負債	0	0	0
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	0	0	0
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	150,292	141,721	75,811	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
財 的 関 与 状 況	補助金	0	0	0
	委託金	0	0	0
	貸付金			
	計	0	0	0
	財政的関与の割合(%)	0%	0%	0%
	損失補償・債務保証			

[平成16年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	
貸付金	

警戒指標

当期正味財産増減額

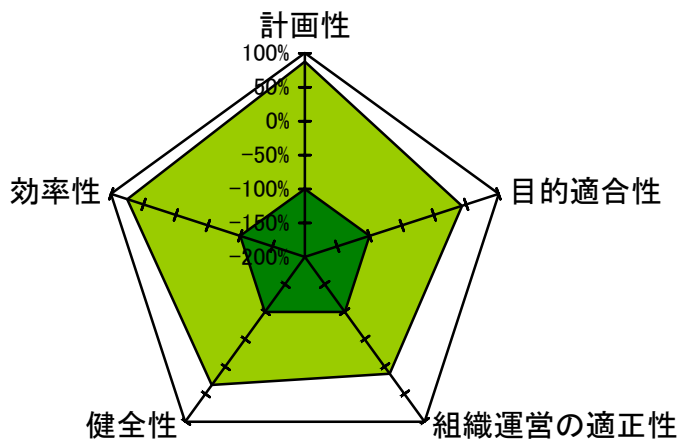
《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	7	8	87.5%
目的適合性	5	6	14	42.9%
組織運営の適正性	4	1	8	12.5%
健全性	10	12	36	33.3%
効率性	2	3	4	75.0%
合計	25	29	70	41.4%



[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
資金が減少したことから、平成14年度に中長期計画を策定したが、今後も厳しい状況にあることから事業の一部を休止し今後の事業、組織のあり方について検討した。	漁業経営の安定のため漁獲共済掛金助成、任意団体への助成等を行っているが、現在の漁業情勢、資金情勢を踏まえ事業の見直しについて検討した。	事務については、茨城沿海地区漁連に委託し、運営の適正化を図った。	資金の利息収入と寄付金収入が収入源であり、資金を取り崩している状況にある。また、収入のアップを見込めない状況にあることから、事業の見直しについて検討した。	事務を茨城沿海地区漁連に委託し管理費の抑制を図った。また、平成16年度から委託料を減額し経費の削減を図った。なお、役員も無報酬である。
今後の事業展開の方向	資金を取り崩しながら事業を展開していることから、事業の見直しを行い一部事業を休止したが、今後も厳しい状況にあることから、組織、事業のあり方について検討を行い、基本財産のより有効な活用をはかるため、平成17年度を目途に財団法人茨城県栽培漁業協会へ統合することを理事会において決議した。			

〔法人を担当する課の意見〕

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
事業の見直しは妥当なものと思われる。	漁業経営の安定のため漁獲共済掛金助成、任意団体への助成等を行っており、目的に沿っているものである。	事務については、茨城沿海地区漁連に委託し、効率的な運営を図っている。	借入金はないものの、低金利の影響を受け、資金を取り崩して事業を実施しているため、より堅実で有利な資金運用を検討する必要がある。	事務を茨城沿海地区漁連に委託するなど効率的な組織運営を行っている。
第三次行財政改革大綱に係る取組状況		推進事項	取組み状況	
法人担当課の意見		マイワシ資源の減少、シラス漁の不振など本県水産業を取り巻く環境は厳しい。当事業団の担う役割は重要といえる。事務局を委託していた茨城県漁連は民事再生法を申請したが、その後設立された沿海地区漁連へ事務を委託し、組織の運営、効率化を図っている。しかし、低金利の影響から資金を取り崩して事業を実施してきていることから、平成17年度には資金の効率的運用を図るため、他の団体との統合（編入）を検討していることもあり、適正な運営について引き続き指導していくこととしている。		

〔総合評価〕

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>当法人は、基金を取り崩しながら、赤字基調の運営を続けている。漁業生産の拡大と漁業経営の安定合理化の確保という設立目的を踏まえ、関係機関と十分に調整しながら、早期に財団法人茨城県栽培漁業協会との統合を進め、基金のより有効な活用を図る必要がある。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>当法人は、本県水産業の振興に大きく寄与してきたが、基金を取り崩して事業を実施していることから、資金の効率的運用と設立目的を踏まえて、平成18年6月を目途に（財）茨城県栽培漁業協会との統合を進めるよう指導していく。</p>

＜ 財団法人茨城県水産振興事業団 から県民のみなさまへ ＞

当事業団は、昭和44年設立以来、本県水産業の振興のため各種事業を展開してまいりましたが、近年の厳しい情勢のなか、基本財産のより有効な活用を図るため、平成17年度を目途に財団法人茨城県栽培漁業協会へ統合することといたしました。これまでの皆様のご支援ご協力に対し厚くお礼申し上げます。今後とも本県水産業の振興にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年2月 理事長 浅野 次男